



NORWEGIAN CRUISE LINE®

ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングス 環境・社会・ガバナンス(ESG)年次報告書を発行 サステナビリティへの取り組みの進捗を詳細に報告

SAIL SUSTAIN

2023年6月14日(東京) - ノルウェージャンクルーズライン、オーシャンアクルーズ、リージェント セブンシーズクルーズを運営する世界有数のクルーズ会社ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: 以下 NCLH と表記)が、グローバルサステナビリティプログラム「[セイル & サステイン](#)」の一環として、2022年環境・社会・ガバナンス(ESG)レポートとサステナビリティ会計基準審議会(SASB)指標を発行しました。本報告書では「セイル & サステイン」に総括される5つの柱-「環境負荷の低減」、「安全な航海」、「地域社会の強化」、「人材強化」、「誠実で責任ある運営」-を通じた取り組みを含め、NCLHのESG戦略および目標が特に説明されています。

ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングス社長兼 CEO ハリー・ソマーは、「気候変動や持続可能性といった地球規模課題に対応すべく、私共は企業が行動を起こす必要を認識しています。ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングスとしては、社会的責任を果たし、環境に留意し、社会に良い影響を与えるような方法で事業を行うことで、私たちの役割を果たしています。セイル & サステイン プログラムは、事業を前進させるための鍵であり、弊社とステークホルダーに長期的に価値をもたらすものです」と述べています。

2022年版 ESG レポートと、NCLH のグローバルサステナビリティプログラム「[セイル & サステイン](#)」に関する追加情報は、<http://www.nclhltd.com/sustainability> で公開されています。

ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングスの ESG・投資家対応・コーポレートコミュニケーション担当副社長のジェシカ・ジョンは、「この1年間、私たちはより持続可能な未来への道筋を立ててセイル & サステインの重点領域における新たな目標やイニシアティブで大きな前進を続けることができました。今回発表の報告書では、これらの進捗だけでなく、ステークホルダーの皆様に必要な透明性を提供するため、年々の開示内容増加・強化への取り組みにも言及しています」としています。

また、「2050年までにネットゼロを達成する計画や、私たちが住む場所や訪れる世界中の地域社会を支援する取り組みを通して、私たちはセイル & サステインを推進するうえでの革新的な方法を模索しています」と、付け加えています。

本レポートに掲載されている多くの ESG イニシアティブの中で、過去1年の主なハイライトは以下の通りです：

環境負荷の低減

- **温室効果ガス(GHG)排出量削減のための大胆な気候変動対策戦略と達成目標：** NCLH は先ごろ、効率性、革新性、協調性に重点を置いた改定気候変動対策戦略および、2050年までのネットゼロ達成にむけた短期および直近の積極的削減目標を発表しました。現在の目標は、GHG 原単位を、キャパシティデイズあたりで測定した 12019 年のベースラインと比較して、2026 年までに 10%、2030 年までに 25%削減することです。
- **メタノール対応新造船の発注：** 2027 年および 2028 年に引き渡し予定のプリマクラスでは最後となる 2 隻を、将来的に代替燃料としてグリーンメタノールの使用に適用できるように設計変更しました。それら 2 隻が従来の船舶用燃料に加えメタノールを完全に使用できるようにするためには今後のさらなる改良が必要ですが、これにより NCLH の脱炭素化への取り組みが強化されます。
- **ウォーターマネジメントに注力：** NCLH は、水の生産率を向上させると同時に消費量を減らす取り組みに力を入れています。2022 年に保有船全体で使用された真水の 90% が船上で生産されたものです。
- **バイオディーゼル燃料のテスト：** 船舶用ガスオイル 70%、バイオディーゼル 30% のバイオディーゼルブレンド B30 の少量でのテストをこれまでに 4 隻のクルーズ船で実施しています。2023 年末までには保有船の 20% 以上でテストを実施してバイオディーゼル混合燃料で運用されると期待しています。
- **陸上電力への投資：** NCLH は現在 12 隻の船に陸上電力供給機能を搭載。停泊中に必要な電力の多くを陸上の電力網から取り入れ供給することが可能です。



NCLH ではこの技術を拡大するための投資を継続中で、2023 年末には保有船の電力の約 60%が、2025 年末には同約 70%が陸上電力で賄えるの見込んでいます。

安全な航海

- **乗客、乗員、寄港先地域社会を守るための強固な公衆衛生プログラム:** NCLH は、24 時間 365 日体制で包括的な公衆衛生・安全プログラムを運営しています。そのため世界中の保健当局と緊密に連携し、規制を遵守していますが、多くの場合、規制を上回る方針と手順を実施して継続的に改善を計っています。また乗員は、感染症の蔓延を抑え、防止するための「集団発生予防と対応計画」についても高度な訓練を受けています。
- **継続的公衆衛生研修・教育:** NCLH は、さまざまな政府機関や取引先を代表する人々の協力のもとに開催される毎月のオンライン共同研修と毎年の対面サミットを通じて、公衆衛生トレーニングを継続的に開催しています
- **安全・安心への取り組みを優先:** 海の安心・安全を最重要視して第三者委員会と共に定期的にコンプライアンス遵守が確認されています。各船にはさまざまな船上の職務で 10 年から 15 年の経験をもつ安全管理者が常駐。乗員は船上や地上で定期的に実施される安全研修、演習、実地訓練などに参加しています。

¹ 対象は全船、島、施設からの排出(スコープ 1&2)、および輸送用燃料製造を含む上流段階の燃料とエネルギーに関連する活動(スコープ 3 の一部)を含みます。

人材強化

- **福利厚生拡充で従業員に対するコミットメント:** NCLH は、新たに「ファミリーケアベネフィット」を導入し従業員の福利厚生を拡充。米国ではフルタイムの地上勤務職員に賃金減額なしで母親の出産休暇、男女双方に養子縁組の場合も含めた育児休暇が認められ、家族計画支援も提供されます。



- 個々の様々な背景と力を発揮させる人材育成：NCLH の世界全体の地上職員は、61%が女性。そのうち 47%がマネージャー以上の役職にあります。また、米国内の地上職員全体では、チームメンバーの 67%がアフリカやアジア系等のマイノリティに属し、そのうち 54%がマネージャー以上です。また、2023 年には、リージェント セブンシーズクルーズに NCLH ブランド初の女性社長アンドレア・デマルコを含め 3 名の新社長を任命。3 名とも民族や性別にとらわれない社内候補からの起用でした。
- 全従業員に研修や技能向上の機会を提供：NCLH ではさまざまな役割と職責にある社員を対象に 80 万時間以上のトレーニングや能力開発を実施しています。こうして優秀な人材の能力を向上させ、着実なキャリア開発を培うという企業理念が確立しています。

地域社会の強化

- 社会貢献活動への継続的企業努力：NCLH は、これまでに世界中の非営利団体に 200 万ドル以上の献金および物品寄付をしています。この中には、フロリダ州南西部で起こったハリケーン・イアンへの復興支援など、災害/危機支援のための 30 万ドル以上の寄付が含まれています。
- 旅と教育のつながりを大切に：ノルウェー・ジャンクルーズラインのギビングジョイプログラムは、学生たちに日々感動を与えるため揺るぎない努力を続けている優秀な教育者を毎年表彰しています。2022 年、ギビングジョイプログラムは、北米の 100 人の教師に総額 75 万ドル以上に相当する 1 週間無料クルーズ(2 名分)を贈呈するとともに、NCL とそのパートナーから上位 3 名のグランプリ受賞者の学校に数千ドルを寄付しました。
- カーボンオフセットによる排出権の相殺と地域社会への貢献：NCLH はこれまでにカーボンオフセットを 160 万クレジット購入し、韓国、ブラジル、トルコを含む世界 14 か国のプロジェクトに貢献しています。購入したオフセットは、NCLH の脱炭素化に向けた後ろ盾となるだけでなく、それら地域社会でのよりクリーンなエネルギー源や雇用創出への投資にもつながります。

誠実で責任ある運営

- ESG 指標を報酬に連動:取締役会報酬委員会は、2022 年の短期インセンティブ(STI)の一環として初めて ESG 指標を含めることを承認。2023 年にも ESG 指標を含めることを承認しました。この指標は、NCLH の GHG 削減目標でなされた進捗状況を基にしたもので、ESG 達成目標に向けた前進を加速させるために、全社一丸となってより高度な責任ある運営を実現するものです。
- 倫理的行動文化を育む: NCLH は、倫理的ビジネスの実施を常に高い重要度で位置づけ、すべての従業員が倫理的ビジネス行動規範を遵守するよう求めています。全従業員はこの規範を毎年再確認し遵守していることを認証するよう求められます。
- 多様な経験やバックグラウンドを持つ強力な役員会維持に注力: NCLH は、2022 年に新取締役委員会のメンバーとして、テクノロジー分野、デジタルメディア、E コマースの豊富な経験をもつジラ・ビング＝ソーンを迎えました。現在の取締役会は 37.5% が女性、約 50% がアフリカやアジア等出身のマイノリティ 12.5% を含む多様な人材で構成され、平均在任期間は 6.6 年です。

ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングスについて

ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングス株式会社 (NYSE: NCLH) はノルウェージャンクルーズライン、オーシャニアクルーズ、リージェント セブンシーズクルーズの各ブランドを運営し、世界のクルーズ業界をけん引しています。3 ブランドの保有船合計 30 隻、総乗客数は 6 万名余。各クルーズブランドのアイテナリーには世界約 700 のデスティネーションが網羅されています。今後 NCLH の 3 ブランドでは総乗客数 1 万 9,000 名近くを数える 7 隻の新造クルーズ船導入予定。詳細については www.nclhltd.com

セイル & サステインについて

セイル & サステインは、ノルウェージャンクルーズライン・ホールディングスのグローバルなサステナビリティプログラムで、「世界中のすべての人に選ばれるバケーションになる」というビジョンを実践すると同時に社会や環境に好ましい影響を与えることを目的としています。プログラムは、社内外の主要ステークホルダーとの職域の枠を超えたコラボレーションによって開発された 5 つの柱 (環境負荷の低減、安全な航海、人材強化、コミュニティ強化、誠実で責任ある運営) を中心に構成されています。

【発行元】ノルウェージャンクルーズライン PR 株式会社フレア